

～チームとざわでコロナに打ち勝とう～

学校での場面	対応内容
○登校前	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での検温のお願い ★発熱がある場合は欠席することをお願いする。 ・健康観察カードへの記入のお願い【風邪の症状、発熱※平熱より1℃程度高い、強いだるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）、嗅覚・味覚異常はないか】★場合によっては欠席。 ・<u>熱や風邪症状等をはじめ、腹痛や下痢、倦怠感など体調に変化があった場合や同居の家族に風邪症状等が見られる者がいる場合は、症状が改善傾向になるまで家庭で様子を見ていただくようお願いする。（医療機関の受診をお願いする）</u> ・飛沫感染の予防、咳エチケットのために<u>不織布マスク</u>を着用して登校（職員も）する。 ※ ただし熱中症対策で登下校時に自転車を利用する場合はマスクを外しても良い。 ・風邪様症状があって通院後に登校する連絡が入った場合は、<u>健康状態をしっかりと臈き取り、児童生徒に無理をさせないようにし、場合によっては欠席を進める。</u>
○登校後	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの乗車前、降車後の手指消毒。 ・玄関で手指消毒の徹底、検温の確認と測り忘れ児童生徒の検温。 ・<u>教室で健康観察カードを提出。</u> <u>（測り忘れていた児童生徒がいる場合は、その場で検温。掲示物でも指示する）</u> ・<u>※ 担任の先生・支援講師は健康観察カードを確認し、異常がある児童生徒は保健室へ。</u>
○授業前後	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>換気をする。（中等部では、エアコン使用時は、ロスナイ換気を利用し、放課後エアコンを切ったら、通常の換気扇に戻す）CO2モニタを活用する。（1500ppm以下が望ましいとされている）※1500ppmを示したら換気をする。</u>
○給食指導	<ul style="list-style-type: none"> ・給食前の丁寧な手洗いを指導。 ・給食前に教室に配布したアルコールを配膳台と机・テーブルに噴霧し、キッチンペーパーで拭く。 ・全員マスクを着用して給食準備を行う。 ・自分の分の給食は自分で配膳する。 ・<u>会食は全員前を向いた状態でを行い、会話はしない。（黙食）</u> ・自分の食器は自分で片づける。 ・<u>はみがきは、対策を講じた実施が難しいため、実施しない。</u> <u>（発達段階に応じて、自己責任での対応（日本学校歯科医会推奨の対策）が可能なら禁止はしない）</u> ・<u>給食後、窓を開け換気をする。</u> ・自分でこぼしたものは、ティッシュ等を使って自分で拾って片付ける。
○清掃	<ul style="list-style-type: none"> ・密接場面での会話を避けるために、清掃中は私語をしない「黙動」マスク着用。 ・清掃後の丁寧な手洗いを指導。 ・物の消毒は基本的には消毒用アルコールを用意。 先生方に【消毒液・使い捨て手袋・キッチンペーパー】を配布。
○消毒	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>一日一回、担当（日直）の先生が、手すり、スイッチ等・トイレ内の手の触れる場所の消毒を行う。</u> <u>（必要に応じて、共用ツールの消毒をする）→ 手洗いを徹底することを前提に廃止する。</u> ・<u>技能員さんが、玄関付近の取っ手等の消毒を行う。（不特定多数の来校者が触ることを考え、引き続き継続）</u> ・PC等の共用ツールを使う時は、使用前後に手洗い手指消毒をする。
○児童生徒への保健指導	<ul style="list-style-type: none"> ・感染予防3原則 ※自分の身は自分で守る！ 自己管理能力育成の機会に！していく。 感染源対策：治療、隔離（体調不良のときは無理をしないで休む） <u>感染経路対策：手洗い・咳エチケット、消毒 → 今年度もうがいはしないを継続する。</u> 感受性者対策：免疫力を高める規則正しい生活、適度な運動、十分な休養 ○手洗いのタイミングの目安 ※児童生徒に指導する。 <ul style="list-style-type: none"> ・外出から戻った後（登校後に学校で←玄関での手指消毒をこれに充てる、下校後自宅で） ・多くの人が触れたと思われる場所を触った後（ドア・窓の取っ手、棚、机、電気等のスイッチ、てすり、本、ボール等） ・咳・くしゃみ・鼻をかんだ後、食事の前、トイレの後
○保健室での対応	<ul style="list-style-type: none"> ・発熱や風邪症状、だるさや息苦しさ・嗅覚味覚異常等の新型コロナウイルス感染が疑われる症状のある児童生徒がいる場合、<u>中学校保健室奥の相談室で対応し、速やかに迎えにきてもらうように保護者に連絡する。（下校後は換気、消毒等を行う）</u> ・各教室に絆創膏、湿布、体温計を配布するので、教室で対応できる症状については可能な限り教室で対応する。
○その他	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>密閉空間・密集場所・密接場面を作らないように、1メートル以上間隔をあける等の授業を工夫する。</u> <u>難しい場合はマスクを着用⇒学校生活では基本的にマスクを着用する。（体育の授業時は、熱中症対策のためマスクを外す）</u> <u>なお、熱中症等の健康被害が懸念される場合は、特に発言するとき以外はマスクを外す等の指示をする。</u> ・ゴミ箱には袋をかける。 ・<u>職員も毎朝検温をしてから出勤し、健康観察カードを教頭に提出する。</u> ・コロナウイルスに関する心配や不安が少しでも軽減されるよう、こころのケアにも配慮する。 ・体調不良の児童生徒が差別的扱いを受けることのないように配慮する。 ・<u>コロナワクチンの接種状況に関する差別が生まれないよう、各担任が指導、配慮を行う。</u> ・<u>朝や音楽の時間等の歌については、密を防ぎ、マスク着用のうえ、飛沫が直接顔にかからないように配慮した上で実施する。</u> ・冷水機は当面の間使用禁止、また、蛇口から水道水を飲むことも控えることとし、水分補給のためには、各自水筒を持参するようお知らせをする。（部活動時には、スポーツドリンク可） ・<u>児童生徒や保護者等、学校関係者に新型コロナウイルス感染者や濃厚接触者が出た場合は、保健所の指導の下、消毒等の処置が終わり、保健所の許可が出るまで、学校を原則閉鎖する。（保健所の指導で学校閉鎖を行わない場合もある）関係する児童生徒や教職員は、保健所の許可がでるまで自宅待機する。</u>